

低コストの木材集成天板

特許番号	出願日	登録日
特許第3969380号	2003/10/30	2007/6/15

□本技術の採用イメージ

◆集成材を使いたい

(理由：経済的、入手しやすい)

◆圧縮加工で強度や剛度が特に必要

◆圧縮加工で**反り**や**振れ**を防止したい

□本技術の特徴

角材や板材を接着して圧縮加工する際、継ぎ目に沿ってスリット溝を形成することで反りを防止でき、

単層の集成材でありながら、広い面積の天板を製造コストを最小限に抑制することができる。

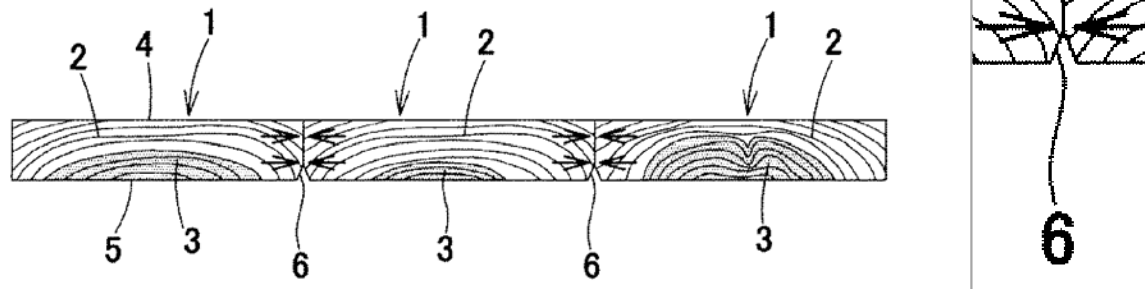


集成天板を利用した例（当社製品）

技術説明

□本件の技術

小径の丸太材から製材した長尺の角材若しくは板材からなる複数の構成材（1）を、年輪（2）の湾曲凸方向を表面側に向けて配列させて側端面同士を接着し、表裏方向に圧縮加工。そして、裏面（5）における各構成材の継ぎ目に沿って**スリット溝（6）**を形成する



集成材の裏面の各材の継ぎ目に沿ってスリットを形成することで、裏面側の内部応力を緩和する。つまり、年輪の影響を受けて圧縮加工のときに表面側と裏面側の内部応力の差が大きくなるところを、**スリット形成**により接合面の内部応力の差が小さくなり、**圧縮加工後の反りや捩れを防止できる**